

記者発表（資料配布）				
月日 (曜日)	担当所属名	T E L	発表者名 (担当部長名)	その他の配布先
6月6日 (木)	ひょうごボランティア プラザ 兵庫県教育委員会事務局 教育企画課	078-360-8845 078-362-3214	副所長 芳永 和之 (次長兼総務調整部長 沖本 通浩) 課長 稲次 一彦 (主任指導主事兼班長 波部 新)	県政記者クラブ

令和元年度ひょうごボランティアプラザ 被災地「絆」ボランティアバスの実施について（県立高等学校実施分） －高校生被災地支援プロジェクト－

ひょうごボランティアプラザは、東日本大震災発災直後から、被災地支援ボランティアバス事業を実施し、高校生をはじめとするより多くの県民による現地でのボランティア活動を支援してきました。

今年度、東日本大震災の被災地及び熊本地震の被災地への継続的支援のため、県教育委員会と連携し、「高校生被災地支援プロジェクト」として、県立高等学校に参加を募ったところ、546人・32校（予定）の県立高校生等が、7月～3月にかけてプラザのボランティアバスで現地へ赴き、復興住宅等の被災者を励まし、交流し、被災地との絆を深めることとなりましたので、お知らせします。

また、「兵庫の防災教育」の推進を図るため、県教育委員会が行う「高校生等防災ジュニアリーダー育成事業」の一環としても、ボランティアバス支援事業を実施しています。

1 応募状況

- (1) 申請学校数 17校（うち2校が初申請） ※東日本14校、熊本3校
- (2) 参加学校数 32校（複数校による協働実施を含む。）
- (3) 参加人数 546人（予定：スタッフを含むと628人。そのうち初参加407人）

2 目的・効果

当プラザは、高校生をはじめとするより多くの県民と東日本大震災や熊本地震の被災者との絆を深め、助け合いの文化をつなぎ、今後懸念される災害への備えとする活動の継続を支援するとともに、阪神・淡路大震災を経験していない高校生など若い世代については、東日本大震災や熊本地震の被災地を見ることを通じて学びを深めてもらうことも含めて、ボランティアのすそ野が広がるよう支援していく。

3 今年度の特徴

- ・ 東日本大震災の被災地へは、神戸高校、西脇北高校、多可高校、豊岡総合高校、西脇工業高校は8回目、佐用高校、西脇高校は9回目、舞子高校は10回目と、継続した支援、交流を実施予定。
- ・ 熊本地震被災地へは、尼崎小田高校は3回目、赤穂高校と姫路北高校は2回目の支援活動を実施予定。
- ・ 社高校は、熊本地震被災地支援を2回実施後、東日本大震災の被災地へ2回目の支援活動を実施予定。
- ・ 淡路三原高校は、南あわじ市内の市立中学校6校と協働して支援活動を実施予定。

(参考 1 令和元年度 実施予定校一覧)

実施時期	参加校 (下線：申請校)	台数・ボランティア参加人数 () 内数スタッフ含む	訪問先	活動(交流)場所等
7/12～14	<u>佐用高校</u>	1台・22人 (25人)	宮城県石巻市	復興住宅
7/20～23	西脇北高校、 有馬高校定時制課程、 尼崎市立琴ノ浦高校	1台・25人 (35人)	宮城県石巻市、 仙台市	学校、その他
7/23～26	神戸高校、 東灘高校、御影高校、 神戸市立葺合高校	2台・60人 (70人)	宮城県仙台市、 名取市、石巻市、 福島県飯館村	学校、その他
7/24～27	飾磨工業高校 、 尼崎工業高校	1台・35人 (45人)	宮城県石巻市、 福島県南相馬市	学校、その他
7/27～29	<u>西脇工業高校</u>	1台・40人 (44人)	宮城県石巻市	地元NPO、その他
8/1～3	淡路三原高校、 南あわじ市立中学校6校 (南淡、三原、西淡、 沼島、倭文、広田)	1台・22人 (25人)	宮城県東松島市他	復興住宅、学校
8/4～7	<u>舞子高校</u>	1台・35人 (40人)	宮城県東松島市、 石巻市、多賀城市	災害公営集合住宅、 学校
8/6～9	<u>香寺高校</u>	1台・30人 (33人)	宮城県石巻市、 名取市	仮設団地、復興住 宅、老人福祉施設
8/6～9	豊岡総合高校、 大岡学園高等専修学校	1台・18人 (20人)	宮城県石巻市、 女川町	学校、その他
8/7～9	宝塚東高校、 宝塚高校	1台・40人 (45人)	宮城県東松島市、 石巻市、松島町	防災集団移転団地、 その他
8/8～11	宝塚西高校 、 尼崎西高校	1台・35人 (40人)	宮城県名取市、 石巻市、南三陸町	復興支援住宅、 仮設住宅
8/10～12	<u>西脇高校</u>	1台・40人 (45人)	宮城県南三陸町	復興住宅
8/21～23	<u>社高校</u>	1台・23人 (25人)	宮城県亶理町	保育所、学校
9/19～22	<u>姫路北高校</u>	1台・25人 (30人)	熊本県西原村	被災農村地域、 その他
9/26～29	<u>赤穂高校(全日・定時制)</u>	1台・40人 (45人)	熊本県熊本市	仮設住宅、農村復 興拠点、その他
12/8～11	<u>多可高校</u>	1台・27人 (30人)	宮城県七ヶ浜町	幼稚園、老人福祉 施設
3/15～18	<u>尼崎小田高校</u>	1台・29人 (31人)	熊本県熊本市、 益城町	仮設住宅、病院、 学校
	申請校：17校 参加校：32校	18台・546人 (628人)		

(注) ゴシックは初申請の高校

(参考2 平成30年度 被災地「絆」ボランティアバス実施県立高等学校等の数)

年 度	申請学校数	実施台数	参加人数 (() 内数はスタッフ含む)	備 考
平成30年度	19校	20台	568人 (652人)	

※1 平成23年3月～平成31年3月までの東日本大震災支援ボランティアバス実績 (全体)
286回 392台 9,730人

※2 平成28年4月～平成31年3月までの熊本地震支援ボランティアバス実績 (全体)
22回 27台 909人